

平成30年度 新特産品チャレンジ栽培実証事業 実証品目等

NO.	事業実施主体	品目等	実証地域	実証内容
1	中北農務事務所	オリーブ	中央市	オリーブは加工用途に応じて60種類以上の品種があるが、高品質な果実の安定生産に向けて、地域における品種特性の把握が必要である。主要な11品種について、試験栽培を実施し、品種特性の把握と地域における適応性の検討を行う。
2	峡東農務事務所	マカ	山梨市	機能性成分を含有するマカについて、山梨県では栽培事例がないことから栽培実証を行う。また、連作障害の回避および肉体的に負担が少ない栽培方法の検討に向け、高設養液栽培(ココヤシ培地、コンテナー土耕)の実証を行う。
3		カラシナ(種子)	笛吹市	栽培が容易なカラシナ種子を広く栽培していくことで、耕作放棄地の解消や景観向上による新たな観光資源の創出を目指す。地域に適した品種の検討と栽培方法(播種時期等)の検討を行う。
4	峡南農務事務所	レモン(璃の香)	市川三郷町 南部町 身延町 富士川	付加価値の高い新品目の導入が求められており、管理作業が省力的であるレモンの新品種「璃の香」の導入を検討する。地域の気候に適したレモンの栽培方法や凍霜害・鳥獣害対策等の検討を行う。
5	富士・東部農務事務所	醸造用ブドウ(山幸、清舞)	山中湖村	耐寒性のある醸造用ブドウ品種(山幸、清舞)を選定することで、地域における醸造用ブドウ栽培の拡大を見込む。地域に適した醸造用ブドウ品種の栽培検討を行う。